

アイロボットジャパン、「ルンバのお助け大掃除プロジェクト」を始動 第1回目は神田明神の煤(すす)納めをルンバが床掃除でサポート ～本殿、神楽殿を大掃除！煤納め前にはお祓いにも参加～

アイロボットジャパン合同会社(本社:東京都千代田区/代表執行役員社長 挽野元)は、年末の忙しいときに、少しでもロボット掃除機 ルンバが役に立てるように、大掃除の手伝いをする「ルンバのお助け大掃除プロジェクト」を始動します。第1回目として、12月12日(火)に神田明神の「煤(すす)納め」をルンバが床掃除でサポートしました。



アイロボットでは「暮らしを、もっとあなたらしく。」というスローガンをグローバルで掲げ、ユーザーが掃除をルンバやブラバに完全に任せることで、より自由な時間が生まれ、自分らしい暮らしができるように、という想いを込めて製品を提供しています。そこでこの度、年末の忙しいときに、少しでもルンバが役に立てるように大掃除の手伝いをする「ルンバのお助け大掃除プロジェクト」を始動します。

第1回目の今回は、インバウンド需要の高まりやドラマのロケ地で使用された影響で参拝客が増えている神田明神の「煤(すす)納め」にて10台のルンバがご奉仕しました。今回のコラボレーションは神田明神が電気街のある秋葉原や、大手町、日本橋などのオフィス街を氏子区域に抱え、「ITの神様」として知られていることや、アイロボットジャパンのオフィスが神田にあるというご縁から実現しました。神田明神では毎年年末に煤納めを行っており、境内の大掃除をして神棚をはらい清め、正月の準備を始めています。

当日はまず本殿の中で「煤納めの儀」が行われ、ルンバもお祓いを受けました。その後、神主の方が上から払い、床に落ちた煤を、ルンバが連携プレーで吸引。10台のルンバが一斉に掃除する姿を見ていた人から「すごい」という声がありました。また、境内の神楽殿はルンバに任せいただき、一生懸命ご奉仕。神田明神 広報担当の加藤 哲平氏は「氏神様として、“お掃除ロボットのご奉仕”という1つの新しい形が実現し、新鮮だと感じました。ルンバが一生懸命ご奉仕する姿が微笑ましかったです。」と述べられました。



アイロボットジャパンではこのプロジェクトを今後も年末の風物詩として継続し、忙しい年の瀬の皆様のご負担をルンバの力で少しでも軽減できたらと考えています。

今後もアイロボットは「暮らしを、もっとあなたらしく。」というスローガンのもと、さらに充実した製品やサービスを提供することで、人々の暮らしを豊かにする Empower people to do more というミッションを、世界中のスタッフが一丸となって取り組んでまいります。



■アイロボット・コーポレーションについて

アイロボットはグローバルに展開する家庭用ロボットカンパニーです。使う人に寄り添った思いやりのある技術と、安心して任せられるホームイノベーションによって、豊かな暮らしを共に創造することをビジョンにロボットのデザインと製造を行っています。2002年に「ロボット掃除機 ルンバ®」の発売を開始し、ロボット掃除機市場を創出して以来、全世界で数千万台に上るロボットの販売実績を誇ります。アイロボットの製品ポートフォリオは、清掃、マッピング、ナビゲーションにおける独自のテクノロジーと高度なコンセプトを特徴とし、これらを活用することでロボットとスマートホームデバイスのエコシステムを構築、家のメンテナンスを容易にし、衛生・健康的な生活の場を提供します。

www.irobot.com

iRobot、iRobot ロゴ、アイロボット、Roomba、ルンバ、Braava jet、ブラーバ ジェット、Klaara は、アイロボットの登録商標または商標です。